

# あおもり創造学 「防災について考える」

## 【目的】

防災を学びながら地元地域への理解を深める目的で行う。防災のための基礎的な内容に加え、地域で起こり得る災害について学び、防災意識を深める。

【実施日】 令和6年12月4日（水）

【対象】 1学年

【講師】 本校教員 鳥山俊幸 氏



## 【生徒たちの感想】

- ・講演を通して自分の住んでいる地域を知ることの大切さや重要性がわかった。地域の特徴を知ることによって土砂災害の時どうすれば良いか、地震がおきたらどうすればよいかを考えることができいざという時の備えができることを知りました。
- ・自分の住んでいる地区にも津波や災害が起これば下北半島全体が孤立してしまい、さらに原子力関連の施設が被災すればもっと大きな被害が出るかも知れないということがわかりました。地域防災の重要性と自助から始まり共助・公助の関係構築が必要だと理解できました。
- ・日頃から自分の住んでいる地域の地形や家の位置を理解して、ハザードマップなどをみて確認しておくことが必要だと感じた。湾内は津波はこないだろうという勝手な考えをせず、常に津波がくることを想定しておかなければならないと思います。
- ・今年の1月におきた能登半島地震のように災害はいきなりくるものなので、そのための備えが必要だと感じました。また最近、川の氾濫や土砂災害も多いので自分の住んでいる周りの避難場所やどのように行動するかなどを覚えておきたいと思います。